

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : IQ TOUR BLUE

COLOR : BLUE

COVER STOCK : R2X™ SOLID REACTIVE

RG : 2.49(MED/15P) ΔRG : 0.029 (LOW/15P)

FACTORYFINISH : 1500GritPOLISH

TRACKFLAREPOTENTIAL : 4-6(MID)

BACK END : 16 LENGTH : 15 (1-20)

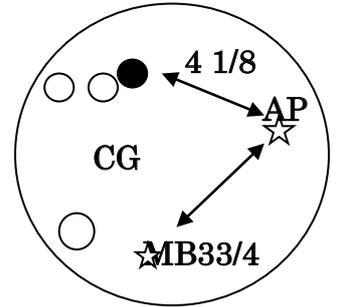
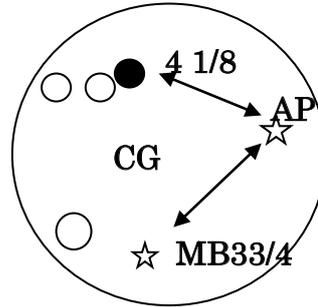


2021年12月7日

レイアウト例

IQ TOUR BLUE

IQ NANO PURPLE



O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

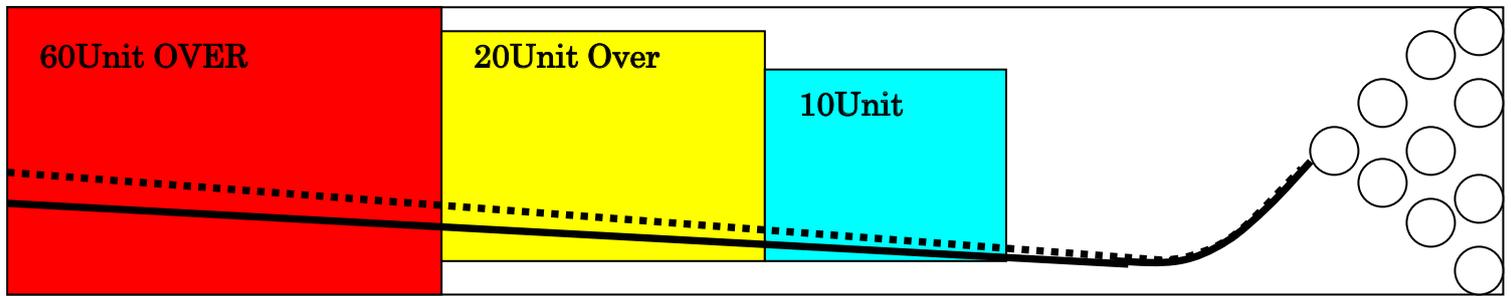
【MEDIUM OIL 編】

CA55度/PSA2

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

CA55度/PSA2

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4



OF 比較品ライン 15F IQ TOUR BLUE 35F 45F IQ NANO PURPLE

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						比較品 △

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



## 【ボール総合評価】

IQシリーズの持ち味でもあるストレスのない直進性能は少ないオイルにも対応できるのでセンターコンディションの夜のリーグ戦や大会後半に力を発揮する感じです。ボウラータイプにもよりますが、曲がりはややシャープな感じですがラインナップの中盤に入る印象です。

## 【ここがポイント】

今回のIQ BLUEは適度なオイルへの摩擦係数で全体的に直線的な攻め方が出来る以前のルビーに似ていて、軸移動も非常に細くなり転がり感も適度にあるので投げ易さも継承している感じです。今まで表面光沢のあるIQは完売するほど人気はロングランで続いているのも頷けます。とにかく色々なレーンコンディションに合う印象で、ボウラータイプも選ばないのがIQの良い所で、内蔵されているC3セントリピタルコアはナチュラルなベースのコアですので表面素材が強い場合と弱い場合でハッキリ使用目的の分かるボールに仕上がっています。ピンアクションもクラス最上級と言えるのが愛用されている証です。



発売予定：2022年3月中旬 希望小売価格¥53,900円

石原 章夫プロ【株式会社スポーツ専属ボウラー】 テスト協力センター：川崎グランドボウル